

中学生の「税についての作文」

租税教育推進活動の一環として納税貯蓄組合総連合会並びに関係協力団体が中学生の「税についての作文」募集で今回も川崎区・幸区の中学校から多数の作品が寄せられ、川崎南税務署長賞をはじめ川崎区長賞、幸区長賞など各団体賞があり厳正な審査の結果、当川崎南法人会会长賞に川崎市立大師中学校3年生、久河美夢さんの作文が選ばれましたので紹介します。

税金は「会費」である

川崎市立大師中学校 三年 久河 美夢

税金は、私たちが健康で豊かな生活を実現していくための、いわば「会費」である。私は最近まで税金についてはほとんど知らなかつた。でも、この作文を書くにあたつて調べてみて、この文を読み疑問を持つた。税は、会費であるという。会費というならば、学校の部活動会費、又は好きなアイドル等のファンクラブの会費というように、身近にたくさん存在している。しかし私は、家で父や母が、税金は難しいし、嫌だと言つて、いるのをよく耳にする。それはとても重い言葉に感じた。このように、大人でも難しいような税が、本当に会費と同じようなくして動いていいのだろうか。もし、そなら、無くなつては駄目なのだろうと思う。部費に例えれば、無くないつたら、部活が出来ない。部活に必要なものも買えないし、遠征や演奏会に行く時の交通費も出なくなる。では、国単位で大切と言われる税金がなくなつたら、国はどうなつてしまふのか。調べてみると、まず、公共サービスがすべて有料化されるという。救急車も、ごみ収集も、医療費も自己負担。交番で道を聞くだけにしても有料。つまり、私が吹奏楽部で学校の楽器を借りて吹くにしろ、有料になるということになる。

更に驚くことは、公務員がいなくなり、立法、行政、司法が全く行われなくなるということだ。つまりは、誰も法や規則を守らなくなるということに繋がる。そして腕つ節だけがものをいう世界が到来するというのだ。こうなつてはもう、豊かな国日本が、面影もなく消え去つてしまつて、いる。日本が日本ではない。皆、安全な暮らしれない。健康でも、いられなくなるのだ。

税金がなくなると、今紹介した、公共サービスが全て有料化されると、国を動かすことができる。それがわかる。他にもきっと、生活に影響が及ぼす何かが起こる。調べてみて、どれだけ税金がかかるのか、感じることができた。そして理解が間違つていないうことでも、理解できただ。そこから、自分の豊かな生活は無くなるといふことを知ってしまった。しかし世の中には色々人がいるもので、税金なんか払わないと言う人もいるはずである。確かに自分に直接メリットがあるわけではないから、そう思うのも無理はない。でも、払わなければいけない人のために税金を払う。そのためには、皆は会費と一緒に感じることができる。現に、まだ未だ未知の世界にある税という存在。種類もたくさんあるし、確かに難しいものではある。確かに費用と、直接的なメリットがあるわけではない。一人は皆のために、皆は



山下会長より会長賞贈呈

労働保険事務組合

川崎労務管理協会に加入しましょう

川崎労務管理協会は厚生労働省の認可をうけ労働保険事務組合を併設しております。

事務組合は事業主の皆さんに代わって労働保険の事務処理をする団体です。是非川崎労務管理協会へ事務委託されますようお願いいたします。

1) 委託できる事業主（中小企業主）

常時使用する労働者が

- 金融・保険・不動産業・小売業(飲食業を含む)
50人以下
- 卸売業又は、サービス業は
100人以下
- その他の事業は
300人以下

2) 事業主に代わって行う事務・手続きは

次のような「労働保険」にかかる事務を行い、労働基準監督署やハローワークへの事務手続きを代行いたします。

- 労働保険料（概算保険料、確定保険料）にかかる申告及び納付についての手続き
- 「労働保険」の加入にかかる手続き（保健関係成立届、事務所設置届）
- 労災保険の特別加入の申請等の手続き
- 雇用保険の被保険者に関する届出等の手続き
- その他の労働保険についての申請、届出、報告等の手続き

川崎労務管理協会

川崎市川崎区榎木町7-2（日窓ビル2階）
TEL044-211-2652 FAX044-211-2653
E-Mail kawarokyo@galaxy.ocn.ne.jp